

タイトル：『汐製菓会社の新作』

水羊羹』

シーン：汐製菓会社 本社オフィス（序盤）

朝、都内のビジネス街にある高層ビル。汐製菓会社のオフィス内は活気に満ちている。デスクに資料を広げている社員たち、電話対応をする事務スタッフの姿が映る。社長室には「汐製菓社長 汐」と書かれたプレートがある。

汐（椅子に座りながら）

ふむ……このままでは面白くない。

汐が机の上に広げた商品の売上データを見つめる。塩田がノックをして入室。

塩田

社長、失礼します。先月の売上報告がこちら

です。(手渡ししながら)少し伸び悩んでいますね。特に夏向けの商品が……。

汐(ニヤリと笑って)

分かっているとも、塩田。このままでは駄目だ。もっと人々の心を掴む商品が必要だ。

塩田(少し不安げに)

社長、まさかまた奇抜なアイデアを考えているんじゃない……。

汐(自信満々に)

その通りだ！今回の新商品は、ドリアン・メロンの味の水羊羹だ！

塩田が驚愕の表情を浮かべる。劇画風の衝撃効果音が流れる。

塩田

えっ！？ドリアン……ですか？

汐(勢いよく立ち上がる)

そうだ！ドリアンの強烈な香りとメロンの甘

さを融合させた、夏にピッタリの新感覚デザ
ートだ！

塩田（苦笑いしながら）

いや、社長、ドリアンって日本ではちよつと……
クセが強すぎるんじゃない。

汐

いいか、塩田。「クセが強い」とは「記憶に残
る」と同義だ。人々の心に残る商品を作るの
が我々の使命だろう？

塩田

（内心…またこれだ……）

シーン②：試作室（試作品の開 発）

試作室。白衣を着た社員たちが忙しそうに
作業している。フリマシとメロンを材料に、水
羊羹の試作が始まる。

社員 A (鍋をかき混ぜながら)

これ、匂いがすごいな……窓開けても無駄だ！

社員 B (試作品の色を見て)

え、ちよつと待って。これグレーになってるけど大丈夫？羊羹でもっと綺麗な色じゃなきゃ……。

社員の

味はどうだ？(スプーンですくって一口)……うわっ、匂いのインパクトがそのまま口の中に来る！

汐が突然入室。社員たちが驚いて姿勢を直す。

汐

どうだ、試作品は順調か？

社員 A (鼻をつまみながら)

順調と言えるのかどうか……。匂いが窓を突き抜けて、近所から苦情が来そうです。

塩田 (メモを取りながら)

苦情対策、社内規定に追加しておきます

……。

汐 (試作品を一口食べて)

うむ、まだまだだな。もっとドリアンの個性を全面に出せ！

社員 B

これ以上強烈に！？

塩田 (ため息をつきながら)

社長、これ本当に売れるんでしょうか……。

汐 (自信満々に)

大丈夫だ！商品はインパクトが全てだ。必ずウケるさ。

シーン③：国内市場調査（イベント会場）

ショッピングモール内。汐製菓の特設ブースが設置され、試食イベントが開催されている。スタッフが通行人に声をかけている。

スタッフ

新商品！ドリアン・メロン味の水羊羹はいかがですかー？

最初の客として、若い母親と小さな娘がブースに近づく。

母親

ちよつと変わった香りがするわね。

娘（興味津々）

ママ、食べてみたい！

母親

じゃあ、一口だけね……。 （娘が試食）どう？

娘（笑顔で）

うん、変な味だけど美味しい！

汐（近づいて）

そうだろう、未来のヒットメーカーは味覚も優れているな！

次にスーツ姿のサラリーマンが試食ブースに立ち寄る。

サラリーマン

仕事中に軽く一口……。 （試食して驚く）
お、なんだこれ！？クセになるぞ！

塩田（メモを取りながら）

好意的な反応が増えてきましたね……。ただ、
まだ批判もあります。

通りすがりの年配の男性がブースを見て立ち
止まる。

年配男性

こんなもん、和菓子じゃない！

場が一瞬緊張するも、汐が笑顔で対応。

汐

おっしゃる通り、これは和菓子の新しい形なんです。伝統を守りつつ、新しい風を吹き込む。それが汐製菓の理念です！

年配男性

ふむ……まあ、そういう考えもあるか。

シーン④：海外市場調査（アジア

編：シンガポール）

場所：シンガポール 高級デパート内 試食ブース

試食ブースには「JAPANESE SWEETS」の

多く書かれた看板が掲げられ、多くの人が行き交っている。シンガポール現地スタッフと、視察に来た汐と塩田が対応している。

現地スタッフ（笑顔で試食品を渡しながら）
新しい日本のデザート、ドリアン・メロン味の
水羊羹です！ぜひ試してみてください！

最初の客は若いカップル。男性が試食を受け
取るが、匂いに気づいて少し顔をしかめる。

シンガポール人男性

おいおい、これ本当に食べ物か？ドリアンの匂
いが強すぎるぞ！

シンガポール人女性（笑いながら）

食べてみなさいよ、意外と美味しいかもしれな
いわ。

シンガポール人男性

……まあ、せっかくだから。（一口食べて）……
おっ！？意外とイケる！

汐（満足げに）

ありがとうございます！日本の伝統和菓子
を新しい形でお届けしています。

別の客（年配男性）

ドリアンの味は好きだが、水羊羹と合わせる
とはね……。日本人は奇妙なことを考えるも
んだ。

塩田（少し焦りつつ）

あの、もし良ければご意見を……。

そのとき、近くにいたフード評論家らしき男
性が声をかける。

シンガポール人評論家

これは日本の和菓子を冒読していると言って
も過言ではない。ドリアンの使い方が安易
だ！

汐（冷静に）

なるほど、ご意見ありがとうございます。です
が、我々の目指すところは、新しい食文化の
創造です。ドリアンと和菓子、どちらもアジア
を代表する食材。この二つが融合すれば、新
たな価値が生まれると信じています。

シンガポール人評論家

ふん、そんなに簡単に融合なんてできるものか。伝統は重いんだ。

汐は微笑を浮かべたまま、評論家に試食を差し出す。

汐

どうぞ、一度お試しください。味を知ることこそ、評価の第一歩です。

評論家が少し渋った後、一口食べる。口の中で味わいながら徐々に表情が変わる。

シンガポール人評論家

……これは……驚いた。ドリアンの芳醇な香りがメロンの甘さと合わさり、後味が非常に滑らかだ。

汐（うなずきながら）

伝統を守ることは大切です。しかし、新しい

挑戦がなければ進化はありません。和菓子の可能性を信じているのです。

シンガポール人評論家

君の情熱、少し理解したよ。この水羊羹、案外売れるかもしれないな。

シーン⑤：欧州での挑戦（フランス：パリ国際展示会）

華やかなパリの国際展示会場。様々な国のデザートブースが並び中、汐製菓のブースが注目を集めている。フランスの有名パティシエたちが興味津々に集まってくる。

フランス人パティシエA

日本の和菓子は繊細で美しいと聞いているが、これは……？

彼が試作品を見せると、周囲のフランス人たちがざわめく。

フランス人パティシエ

この匂いは……ドリアンか？信じられない。和菓子里にはもつと控えめな美学があると思っていたが、これは暴力的だ！

汐

（フランス語で）そうでしょうか？日本の和菓子は確かに繊細ですが、時には大胆な挑戦も必要です。

フランス人パティシエ

（フランス語で）だが、これは芸術ではない。むしろ奇をてらっただけだ。

塩田（日本語で小声）

社長、ここはちょっと……。

汐（日本語で）

塩田、任せろ。（再びフランス語で）皆さん、どうか一口お試してください。この水羊羹が新しい発見をもたらすかもしれません。

パティシエたちが試食を浚々受け取る。口に
入れた瞬間、驚いた表情を見せる。

フランス人パティシエB

これは……。ドリアンの香りが最初に広がり、
次にメロンの優しい甘さが追いかけてくる。こ
のバランス……。計算されているのか？

汐（笑顔で）

もちろんです。すべての味が調和するように、
何度も試作を繰り返しました。

フランス人パティシエA

興味深い……。日本人はここまで独創的な発
想を持っているのか。

シーンの…イギリス ティールームでの対立
と和解

伝統的なティールームで、汐製菓の商品を試す特別イベントが開催される。しかし、保守的なオーナーが厳しい表情を浮かべている。

イギリス人オーナー

日本の和菓子は素晴らしいが、この商品は伝統を壊しているように思える。ティールームにはそぐわない。

汐

(丁寧に)確かに、伝統を守ることは重要です。しかし、新しい視点を取り入れることで、より多くの人々に楽しんでいただけたらと思います。

オーナーが試食をためらいながらも一口食べると、驚きとともに納得の表情に変わる。

イギリス人オーナー

……なるほど。これならアフタヌーンティーの一品として、若い世代にウケるかもしれない。

シーン①：帰国後の大成功（汐製菓本社 プレゼン会場）

オフィス内のプレゼン会場。大勢の社員と取引先が集まり、新商品の発表会が行われている。華やかな照明がステージを照らす中、汐と塩田が登場する。ステージ背後には「新作発表会 ドリアン・メロン味 水羊羹」の垂れ幕が掲げられている。

汐（満面の笑みでマイクを持ちながら）
皆さん、本日はお集まりいただきありがとうございます！
いよいよ、汐製菓の新作「ドリアン・メロン味 水羊羹」を正式にお披露目いたします！

観客席から拍手が起こるが、中には少し不安げな顔も。

汐

国内外での市場調査の結果、我々の水羊羹は新しい世代に驚きと感動を与える商品だ

と確信しました。フランスのパーティシエやイギリスのテイルームオーナーも、最初は懐疑的でしたが……最終的には、その味に納得してくれました。

塩田（補足としてマイクを握る）

実際、海外からの受注がすでに増加しており、特にアジアでは大変な注目を集めています。

スクリーンに市場調査の結果や各国の反応が映し出される。フランスのパティシエが絶賛している映像や、シンガポールでの大行列の写真も表示される。

社員A（小声で）

海外でこんなにウケるとは思わなかったな
……。

社員B

うちの社長、やっぱりすごいよ。

シーン8：予想以上の反響（工場拡大計画）

数週間後、オフィス内で電話が鳴り響く。塩田が急いで電話を取る。

塩田

はい、汐製菓です……。えっ、追加注文ですか？ありがとうございます！すぐに手配いたします。

塩田が電話を切った後、汐に報告する。

塩田

社長、また海外からの追加注文です！特にシンガポールとフランスでの売れ行きがすごいことに……。

汐（満足げに）

よし、工場の生産ラインを増やそう。これからは量産体制だ。

塩田（驚きながら）

そんなに！？でも、国内需要も増えてきていますから、それも対応しないと……。

汐

心配するな。うちの社員は皆優秀だ。それに、次の新作アイデアも温めているからな！

塩田（目を丸くして）

えっ、もう次の企画を！？

汐（にやりと）

次は「炭酸水入り羊羹」だ。プチプチの食感と爽やかな後味を売りにする。

塩田（頭を抱える）

社長、また奇抜すぎる……！

シーン⑥：大団円（社員総会＆新たな挑

戦）

会社の社員総会が開かれる。会場は成功を祝うムードでいっぱい。大きなスクリーンには「汐製菓 成功の秘訣：挑戦と創造」と題されたスライドが映し出されている。

汐（壇上でスピーチ）

皆さん、今回の成功は私一人の力ではなく、皆の努力の賜物です。ドリアン・メロン味の水羊羹は、我々が挑戦する勇気を示しました。そして、それを受け入れてくれたお客様に感謝します！

社員たちが拍手喝采。場内は歓喜に包まれる。

塩田（社員たちに向けて）

これから、汐製菓はお菓子の新たな可能性を探求し続けます！皆さん、一緒に次のステージへ進みましょう！

再び拍手が起こり、会場の熱気が最高潮に達する。

汐（塩田に向かって）

さあ、次の新作も楽しみだな、塩田！

塩田（苦笑いしつつも楽しそうに）

もう次ですか……本当に休む暇がありませんね。でも、楽しみにしています。

シーン10：エンドクレジット

汐製菓の新商品が国内外で大成功を収める様子が映像で流れる。各国の人々が笑顔で水羊羹を食べるシーン、工場で働くスタッフたちの姿、試作室で次のアイデアに取り組む様子がテロップよく描かれる。

最後に、汐と塩田が試作室で新たな試作品を試食しながら笑顔でカメラに向かって手を振るシーンで幕を閉じる。

FIN.